

ヤップの海で、マンタの交尾を狙え!

Mating of Mantas in Yap

これからの時期（12月頃から4月頃まで）、
ミクロネシアのヤップでは、
マンタの交尾シーンを目撃するチャンスがやってくる。
普段は優雅な泳ぎを見せるマンタたちが、
このときばかりは、海中で、
激しい、本当に激しい空中戦を繰り広げる。
追いかけるのも至難の技だが、
そのシーンは、いつまでも
脳裏に焼き付くに違いない。

Photo & Text *Takaji Ochi*
Special Thanks *Yap Rize Diving Center*
Design *Sana☆*



01



02

Mating of Mantas in Yap

念願の交尾シーン

「ヤップでは、マンタの交尾が見られるんだよね〜。おやじには、それを撮影して欲しいけど」。ヤップライズダイビングセンターのオーナーガイド、大ちゃん（紹美大介）にそう言われ続けて、5年の歳月が流れた。

「俺はお前のおやじじゃないし」と中学生みたいな返事をし続けて、はや5年。しかし、未だに交尾シーンの撮影はできていないどころか、交尾シーンに遭遇すらしていない。「交尾シーン撮影できたら、もうヤップ来なくてもいいや」とも言い続けているのだけど、結局家族とともに、ヤップに通い続けている。

その願いが叶うかもしれない瞬間は、突然にやってきた。「どうもマンタの動きがおかしい。それに、生殖器ポロボロだし。も

しかしたら、やってるかも」そういう大ちゃんに、この日も半信半疑で付いていった。しかし、この日のマンタは本当に様子が違っていった。

1匹のメスを巡って、数匹のオスが激しい空中戦を繰り広げていたのだ。その動きの激しさは、補食で回転するマンタでさえ、スローに見えるくらいのスピードだった。「本当に始まったら、普通のダイバーじゃ追いかけられないよ」と大ちゃんが言っていた通り、確かに、透明度が決して良く無い、このチャネルの中では、ロストしてしまう恐れが濃厚だった。

しかし、だてに5年間もこのポイントを潜り込んでいた（潜り込まされていた）わけじゃない。下手をすれば、定番のルートを

潜っているガイドたちよりも、このポイントに潜っている（潜らされている）という自負もある。もし、マンタを追尾して、大ちゃんとはぐれてしまったとしても、恐れる心配は皆無だった。

僕は今にも絡み合いそうになるマンタたちに、一気に接近していった。通常なら避ける仕草を見せるマンタたちが、この日は様子が違っていった。数匹のマンタが、僕の頭上に多いかぶさり、視界を覆い尽くした。「これじゃあ、撮影できない!!」そう思い、自ら、後退する。

しかし、周囲は興奮状態のマンタだらけ、自分はファインダーを覗いて、シャッターチャンスを逃さないようにするのに精一杯だった。

僕の背後に迫っていたオスのマンタが「今にもおやじのおしりに生殖器、突き刺しそうな感じでホバリングしてたよ」と、後になって大ちゃんが、へらへらと笑いながら教えてくれた。

結果、残念ながら、交尾の決定的瞬間は押え切れていなかった。「撮影しているとき、入ってると思ったんだけどな〜」と大ちゃんは写真を確認しながら、何度も首をかしげていた。それでも、ヤップでは交尾シーンの撮影チャンスがあるというのは、嘘では無いことが実証されたわけだ。

01/目の前で繰り広げられる、交尾シーン
02/マンタたちは僕の存在をまったく気にせずに、迫ってきた

ヤップの海で、マンタの交尾を狙え!

Mating of Mantas in Yap

©WEB-LUE ウェブマガジンの二次配付および画像・文章の複製、二次使用を禁じます

Web-lue 2011. Winter



Information Link

<http://www.rizedivingcenter.com/JP-RiZE-Web/wachulab.htm>

関連情報HPへ

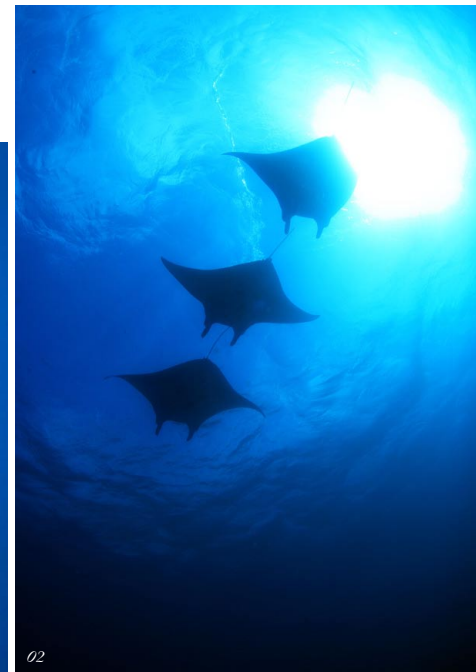
02

Mating of Mantas in Yap

念願の交尾シーン



01



02

01/一番左の下がメス、上がオスのマンタ。周囲にいるのは全てオス

02/頭上をマンタたちが猛スピードで泳ぎ去っていき、また戻ってきた。交尾を予告させる行動だ

ヤップの海で、マンタの交尾を狙え!

Mating of Mantas in Yap

©WEB-LUE ウェブマガジンの二次配付および画像・文章の複製、二次使用を禁じます

Web-lue 2011. Winter



Information Link

<http://www.rizedivingcenter.com/JP-RiZE-Web/wachulab.htm>

関連情報HPへ

03

The discovery of new cleaning station

発見！ 新クリーニングステーション

4ページの話は、2010年4月に訪れたときの話。その次に訪れたのは、同年12月。しかしこのとき、9月頃からマンタがほとんど出ていないと聞かされた。どうやら風もおかしくて、通常夏（雨期）に西風が吹き、マンタのポイントが西のミルチャネルから東のゴフヌチャネルに変わるのに、この年はまったく西風が吹かず、東風が止まらなかった。おまけに、雨期であるはずの5、6、7月頃、雨がまったく降らず、島内で水不足になる日が続いた。

その全てがマンタがいなくなった原因なのかは定かではないが、とにかく9月は1ヶ月で3日間、しかも、1匹しかマンタを目撃しなかったと聞いた。その状況は12月に入ってもあまり代わり映えしなくて、連日ミルチャネルを潜っても、マンタの「マ」の字も無かったのだ。

旅行のパンフレットの紹介などでは、「マンタ、遭遇率70%」とか歌われているのに、これでは「マンタ、会えればラッキー」みたいな感じだった。しかし今回の滞在中、あまりにルーティーンのポイントでマンタが出ないので、他のポイントをリサーチしてみることに。

結果、ミルチャネルのさらに奥の浅いリーフにマンタが集まっている事を確認した。浅いとはどれくらいかというと、水深2～3m。マングローブ域に近いので、透明度はあまり期待はできないものの、この浅さであればスノーケル、船上からでも、マンタが確認できる深さだ。

なんでこんな場所に群れているのか？理由はどうあれ、その後、そのポイントでのマンタ遭遇率は今のところ100%をキープしている。しかも、最低でも5～6匹は常時目撃されている。「いつまで、このポイントにマンタがいるかは定かではないけど、とにかく、これでヤップからマンタがいなくなったわけじゃないとわかって、ほっとした」と大ちゃん。

ちなみに、ニュークリーニングステーションの名前は「こころ」だそう。理由は大ちゃんに直接聞いてもらいたい。とにかく、マンタ遭遇率が戻ってきて、これで一安心だ。



01



02



03



04

01/水深3mの海に広がるサンゴのリーフの上で、クリーニングを行うマンタを発見
02/多いときには、9匹ものマンタがクリーニングステーション上で乱舞していた
03/体色の白い、若い個体も目撃された。例年は東のチャネルで行なわれる産卵も、こちらで行なわれた可能性もあるという
04/透明度が高ければ、元気なサンゴの上を、リーフフィッシュと一緒に舞うマンタを撮影できる

ヤップの海で、マンタの交尾を狙え！

Mating of Mantas in Yap

©WEB-LUE ウェブマガジンの二次配付および画像・文章の複製・二次使用を禁じます

Web-lue 2011. Winter



Information Link

<http://www.rizedivingcenter.com/JP-RiZE-Web/wachulab.htm>

関連情報HPへ



発見！新クリーニングステーション

The discovery of new cleaning station

スノーケルで見れるくらい浅いサンゴの上で、スキndaイパーと泳ぐマンタ

ヤップの海で、マンタの交尾を狙え！

Mating of Mantas in Yap

©WEB-LUE ウェブマガジンの二次配付および画像・文章の複製、二次使用を禁じます

Web-lue 2011. Winter



Information Link

<http://www.rizedivingcenter.com/JP-RiZE-Web/wachulab.htm>

関連情報HPへ

ワチュラブ村、 家族で滞在するには 最適の場所

ここ数年、毎年のように訪れているミクロネシアのヤップ島。中心地のコロニアには、老舗大型ダイビングサービス、ヤップダイバーズをはじめとし、ネイチャーズウェイ、ビヨドザリーフ、ダイブセンターヤップ、トレイダーズリッジダイブセンターと5件のダイビングサービスがある。しかし、僕がいつも拠点にしているのは、コロニアから車で30分程北上したマープ島のワチュラブ村にある、ライズダイビングセンターだ。

何故かと言うと、ほとんどの場合、ヤップには家族で訪れているから。まだ幼稚園と小学校1年生の息子たちを野放しにして、安心して自然の中で暴れ回らせる環境は、そうそうあるものではない。しかし、このワチュラブ村には、そんな小さな子供たちを安心して遊ばせられる環境が揃っている。そういう事もあり、ヤップでの撮影の場合、ほとんどこのワチュラブ村周辺で生活している。

それだけではなく、やはりマンタの出るミルチャネルやゴフスチャネルに近いというのも、大きな要素になっている。

01/ビーチのヤシの木に作られたターザンロープで遊ぶ

02/コロニアも、中心地と言っても、こんな感じ

03/東側のリーフは、西側と違い、透明度が高いブルーウォーターが広がる

04/隣村で、ローカルフードを食べさせてもらうことも

05/遠浅のビーチ、子供たちだけで遊んでいても、安心だ



About Wachelab Village

ヤップの海で、マンタの交尾を狙え!

Mating of Mantas in Yap

©WEB-LUE ウェブマガジンの二次配付および画像・文章の複製、二次使用を禁じます

Web-lue 2011. Winter



Information Link

<http://www.rizedivingcenter.com/JP-RiZE-Web/wachelab.htm>

関連情報HPへ

About big events in Yap



01/カラフルな衣装を身にまとい、ダンスが始まる
02/様々な離島からも、ダンスチームが参加する



ヤップデイ

ヤップには、年間で大きなイベントが2回ある。その一つがヤップデイ。2月下旬から3月頭に開催されるもので、会場となる村も、年によって変更されたりする。このイベントでは、ヤップの離島などからも人々が集まり、それぞれの島や村のヤップダンスを一同に披露する。

ただでさえ、カラフルさが印象的なヤップダンス。村や島によっても、身につける伝統的な衣装に違いがあり、見るものを引きつける。とにかく、ヤップダンスが見たければ、このヤップデイに来ることをおすすめする。

●日程など、詳しくはヤップ観光局のWebサイトで ➡<http://visityap.jp/>



03/カヌーフェスティバルは、2009年からスタートした
04/航海中、嵐に遭遇したときに、わざと船を沈めて嵐が去るのを待ったという
そのデモンストレーションも行なわれた
05/伝統的カヌーの勇姿

カヌーフェスティバル

昨年(2010年)で2回目を迎えたカヌーフェスティバルは、ヤップの伝統的なシングルアウトリガーのカヌーを使って、レースを行なったりする新しいイベントだ。しかし、これもヤップデイ同様に、ヤップに受け継がれてきた伝統を守っていこうという方向性から、行なわれている。

昔、パラオからヤップまで巨大なストーンマナーを運ぶ際に、嵐に遭遇したときの対処法として、沈没する前に自らカヌーを転覆させたり、嵐が過ぎ去ってから転覆させてカヌーを起き上げらせる方法などは、今の我々の想像を絶する手法だ。



ヤップの海で、マンタの交尾を狙え!

Mating of Mantas in Yap

©WEB-LUE ウェブマガジンの二次配布および画像・文章の複製、二次使用を禁じます

Web-lue 2011. Winter



Information Link
<http://www.rizedivingcenter.com/JP-RiZE-Web/wachulab.htm>

関連情報HPへ

The description of Yap stay

「Yap Paradise in Paradise」、「YAP RIZE KIDS」と2回続けてWEB-LUE ヤップ記事のデザインを担当した、Sana☆ファミリーが、今回初めて2歳の息子連れて、ヤップのワチュラブ村を訪れた。どんな体験をして、どんな事を感じたのか、感想を綴ってもらった。



Yap Paradise in Paradise

➡ <http://www.web-lue.com/magazine/categorise/yap/yap.html>



YAP RIZE KIDS

➡ http://www.web-lue.com/magazine/categorise/yap/post_46.html

WEB-LUEのデザインで、初めて作成させて頂いたのが「Yap Paradise in Paradise」でした。この島の素晴らしい雰囲気できるだけ表せるように、と考えデザインしたことを今でもよく覚えています。その後も数々デザインをさせて頂き、「いつか絶対行きたい!」と思わせるたくさんの場所の中で「やっぱりココ!」と今回決めたのがヤップでした。

ヤップには深夜到着だったため、グアムからの飛行機の中で眠ってしまった2歳11ヶ月の息子。朝、目が覚めるなり窓から外を見て「わあ〜海だよ!ボク、外に行く!」と出て行こうとしました。慌てて私も後に続いたのですが、すぐにその必要はなかったことがわかりました。部屋を出ればそこはきれいな白砂のビーチ、海は遠浅のため波の心配も全くないし、そのバンガローに滞在する人と地元の子供達が遊んでいるだけの、とても穏やかな場所だったからです。すぐにカメラマン越智さんの長男、海友さんと会いました。ビーチは見渡せる広さで、どこに誰がいるのかすぐわかるのです。子供たちは早速、砂遊びを始めました。砂遊びが大好きな息子にとって、家を出たらずっと砂浜なのは、すごい遊び場のように思ったようです。

レストランに行き、朝食を頼むと、またビーチに戻りました。注文してから出来上がるまで、時間がかかるからです。レストランの食事はとても美味しく、滞在中飽きることもなければ、偏食気味の息子が困ることも全くありませんでした。ただ、食事が出てくるまでの時間がとても長いだけ、そんなのんびり加減が私にとっては楽しく思えました。滞在中は「ギンガジュース」ばかり飲んでいました。バンガローの庭にも植えられていた金柑のような実で作られ

子供も大人も、 トムソーヤになれる島

ているそうで、甘酸っぱくて美味しく、息子も喜んで飲んでいました。なくなるとお店の人が「今から取ってきて作ろうか?」と言ってくれましたが、のんびりしたヤップ時間ではいつ仕上がるかわからないので、その時は断りました(笑)。お店の前にはパンの木もありました。子供の頃、南の島の本を読んでいたので、見ることも食べることも出来て大満足でした。そして一番うれしかったのはヤシの実ジュースを飲めたことです。地元の人があつという間にヤシの木に登り、大きなナタでヤシの実を落としてくれるのを見て、息子だけでなく、主人も大喜びしていました。ジュースはほんのりと甘くて美味しく、家族中で取り合いになる程でした。飲み終わるとヤシを割ってココナツを食べさせてくれ、そんな現地の方にとっては当たり前だろうことが、すべて新鮮で、子供だけでなく、大人の私達も感動していました。また今回はラッキーなことに、地元のお祭りがあり、私達も参加させてもらうことが出来ました。本物のローカルフードを頂くことができたのは、とても貴重な体験でした。

食いしん坊なもので、食べ物のお話ばかりになってしまいましたが、自然も満喫しました。シュノーケルで7匹ものマンタを、長時間見ることが出来たのです。疲れるまでマンタを見てボートに上がった後、9匹出てきたのに聞いた時は少し残念でしたが、充分満足でした。ボートで行かなくともビーチにはカヌーが置いてあり、それで少し沖に行くとシュノーケルも出来ました。ヤシの木登りやストーンパスの探検など、夫婦で子供のように楽しみました。ビーチのヤシの木に取り付けられているブランコを海に向かってこいでいる時は、なんとも言えない開放感があって、日本のことも自分が大人だということも忘れていました。



息子は好奇心旺盛なのですが臆病な所があり、カヌーに乗せた時も怖がって泣いてしまいました。日本で海に連れて行っても、高波だと波から遠く離れた砂浜にいるのがやっとでした。そんな息子が、海友さんと颯友くんが真っ裸で海で遊んでいるのを見て、自分もすべて服を脱ぎ捨てて首まで海に浸かって大喜びしているので、本当にびっくりしたと同時に、こんなに楽しんでくれて、来て本当に良かったと思いました。海友くん達の影響も多大ですが、息子にとってもヤップは開放感があり、彼の中で何かが変わったのだと思います。私達がシュノーケルに行く時も、一緒にボートに乗ることが出来ました。スピードが上がったら泣いてしまうかと思いましたが大丈夫でした。

人見知りでなかなか他の人に抱っこされないのに、一見怖そうな現地の方に抱っこされているのもびっくりしました。島の人は温かく、子供の扱いに慣れているので、息子も敏感に感じ取ったのでしょうか。逞しい姿に、尊敬の気持ちもあったのかな。

文化的にも素晴らしいヤップ、2歳の息子には少し早かったので、次回は文化も体験させ、成長してもらいたいと思っています。私達が願わなくても、毎日のように「ボク、ヤップの家の方がいい。ボートに乗ってダイビングするんだ」と言っていますし、なんとと言っても、私達大人がまた行きたくて仕方がないのですけれど(笑)。 Sana☆

ヤップの海で、マンタの交尾を狙え!

Mating of Mantas in Yap

©WEB-LUE ウェブマガジンの二次配付および画像・文章の複製、二次使用を禁じます

Web-lue 2011. Winter



Information Link
<http://www.rizedivingcenter.com/JP-RiZE-Web/wachulab.htm>

関連情報HPへ



01



02



03



04

ヤップライズダイビングセンター

大ちゃん(紹美大介)率いる、ヤップライズダイビングセンター。超がつくくらいにゆる〜いスタイルのダイビング。ゆるすぎて物足り無い人もいるかもしれないが、このゆるさにハマってしまう人は、ハードリピーターになっている。マクロに関する知識はほとんど無い。ほぼマンター本やりなダイビングスタイルは、前述したようなマンタのアブノーマルな行動をされたときには、本当になす術無しといった感もあるけど、まあ、それもしようがない

か、と許せてしまう(のかな?)彼のキャラクターがあるからこそ、ヤップライズダイビングセンターと言った感じだ。

- 01/ 村の集会に参加させてもらった
- 02/ メンズハウス
- 03/ 夜の星空も美しい
- 04/ バンガローはビーチの目の前
- 05/ 西の外洋パーティゴはサメのポイント
- 06/ 美しいサンゴにハナダイが乱舞
- 07/ 何匹ものヘルフリッチがいることも
- 08/ インリーフに多いカエルウオ
- 09/ オーナーの大ちゃんとおさんの奈美ちゃん。今年から家族が一人加わった
- 10/ スタッフに頼むと、ヌーヌー(花輪)の作り方を教えてくれたりする



05



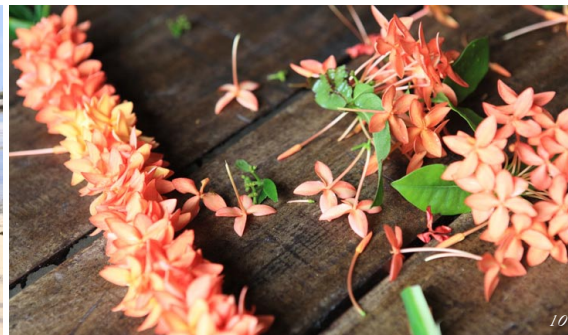
06



07



09



10



08

ヤップの海で、マンタの交尾を狙え!

Mating of Mantas in Yap

©WEB-LUE ウェブマガジンの二次配付および画像・文章の複製、二次使用を禁じます

Web-lue 2011. Winter



Information Link
<http://www.rizedivingcenter.com/JP-RiZE-Web/wachulab.htm>

関連情報HPへ